

2012年12月12日(水)
第一回広域バックアップ専門部会

DBJ BCM格付融資について



 **DBJ** 株式会社日本政策投資銀行

環境・CSR部 BCM格付主幹
蛭間芳樹

環境格付
(環境リスク)

DBJ
評価認証型融資

BCM格付
(事業継続リスク)

健康経営格付
(人的生産性リスク)

- 財務情報のみならず**非財務情報**を積極的に取り込むことで企業価値をより適切に評価する
- 上記の観点は、ややもすると企業努力にスポットが当たらないことも多いため
- ご融資利用のメリット
 - ① 金利メリット …… 格付に応じて金利を優遇
 - ② 内部管理への活用 …… 取り組みの第3者評価、見える化、相対化(他社比較)
 - ③ CSR面のPR効果 …… ステークホルダーへのアピール

DBJ評価認証型融資 概要



環境への取り組みは？

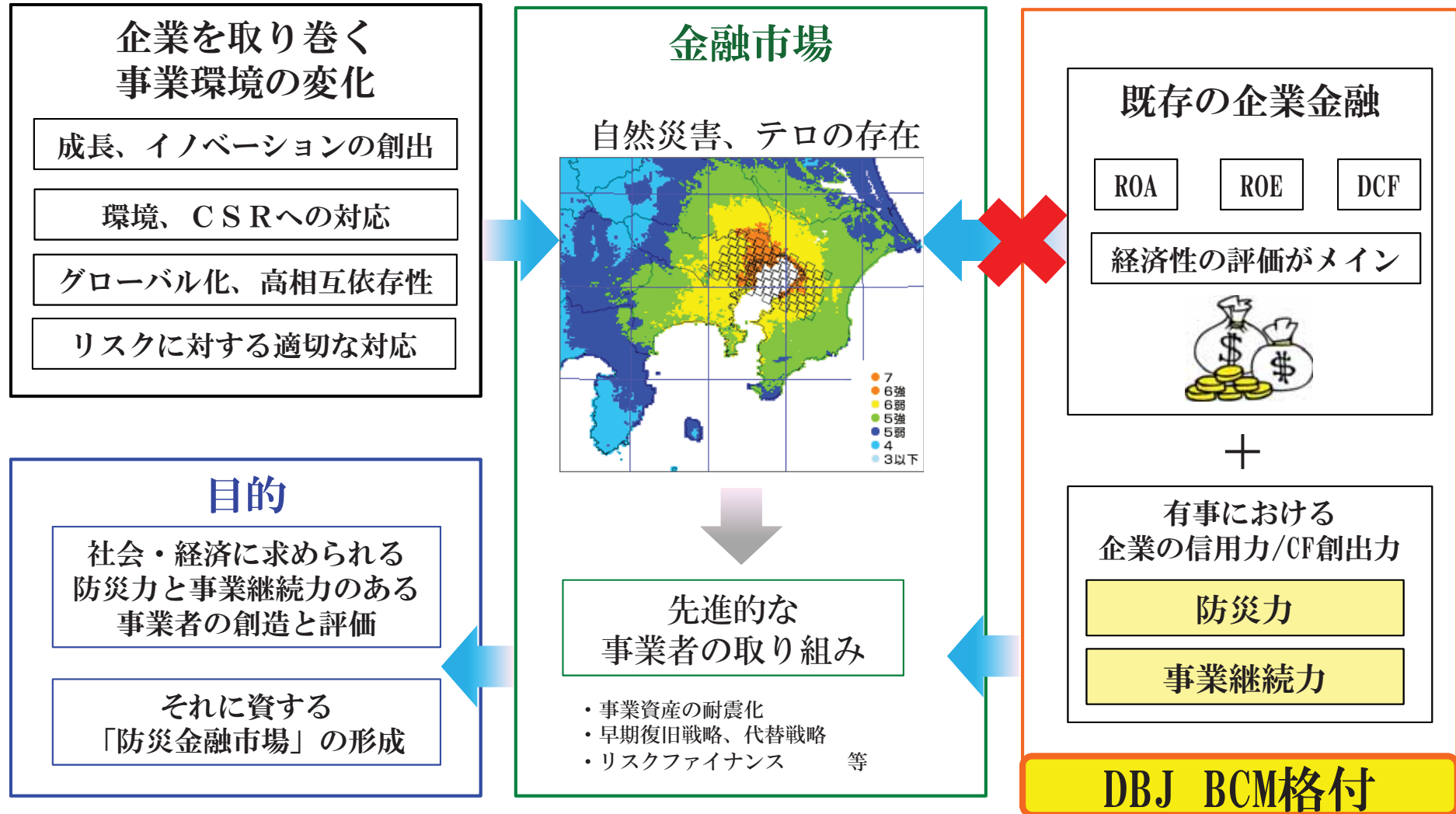
危機への備えは？

人的生産性と健康は？

商品名称	環境格付融資	BCM格付融資	健康経営格付融資
開始年次	2004年4月～	旧:2006年4月～ 新:2011年8月～	2012年3月～
評価対象	環境／CSR	防災／減災／ 事業継続	人的生産性
累計実績	310件、4,913億円 (2011年3月末時点)	54件、447億円 (2011年3月末時点)	1件、100億円 (2012年3月:パイロット案件)

BCM格付 概念図

BCM格付が目指すもの



DBJは、
「BCM格付」を通じて、
レジリエントな日本社会を
デザインします。

企業価値、競争力の源泉としての防災力・事業継続力

■近年、自然災害、大火災、テロ攻撃などの「継続企業の原則(ゴーイングコンサーン)」を脅かすリスクが巨大化、多様化、複雑化しています。

■企業は、ステークホルダーや社会的な要請に応えるために、事業資産の損害を最小限にとどめ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧をするために、BCP（事業継続計画）の策定やBCM（事業継続管理）に代表される、テールリスクの適切な管理が求められています。

■一方、企業経営とその評価は財務的な指標を中心に行われており、一般の金融取引においては、企業の防災・減災や事業継続（＝非財務情報）への取り組みを十分に評価できておりません。

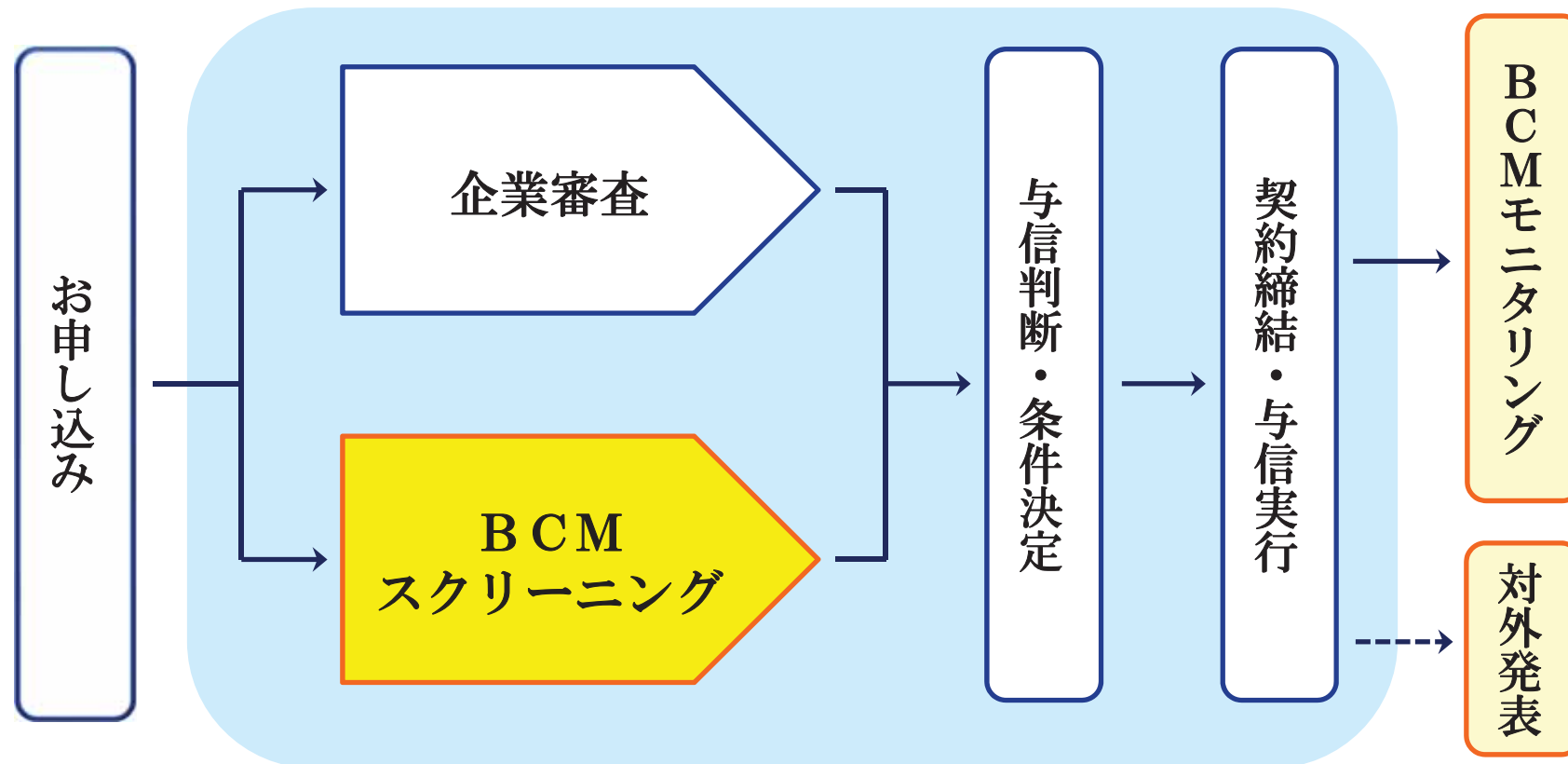
■そこで、DBJでは、防災・減災や事業継続への取り組みを行っている先進的な企業や、今後取り組みを推進していくことを考えている企業に対し、金融技術を活かした支援を行ってきたいと考えます。

■「DBJ BCM格付」融資の普及を通じて、「事業者の皆様」と「投資家・金融機関」の対話や協調を促し、将来は、これまで評価が不十分であった企業の防災力と事業継続力の両側面について、企業価値への反映を目指します。

■また、中長期的には、金融機関・投資家に対して、企業投融資への示唆・マーケットへの浸透を通じて、社会・経済に求められるレジリエントな企業が評価される金融環境の整備・育成に貢献したいと考えています。

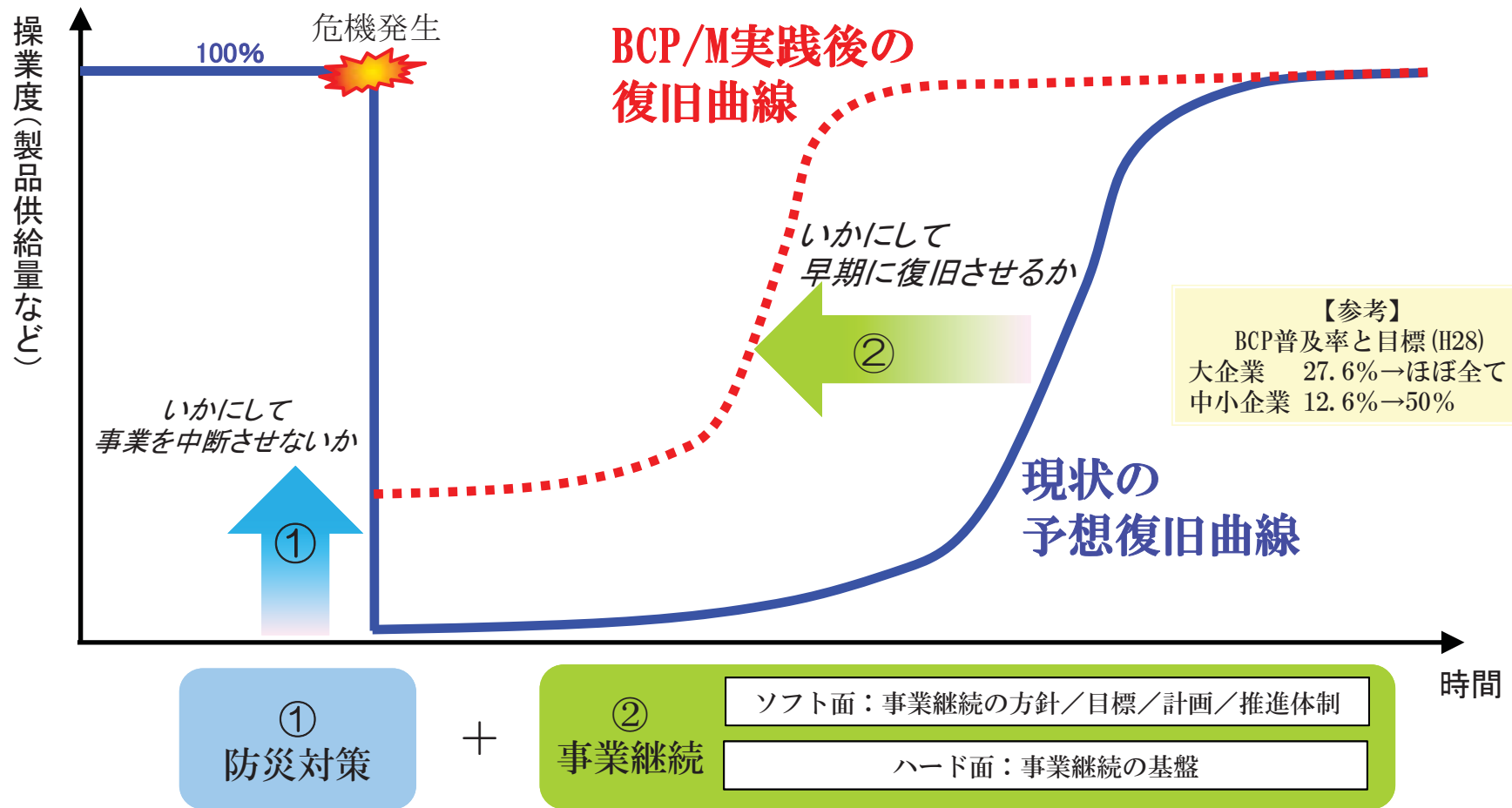
DBJ BCM格付 融資プロセス

- 通常の企業審査と並行して、BCMスクリーニング（BCM格付）を実施。
- モニタリングによりご融資後の規律付けも実施。



- * 貴社による自己評価(スクリーニングシート)
- * 弊行にてヒアリング内容の反映→貴社によるご確認
- * 弊行にて判定会議→ランクの決定

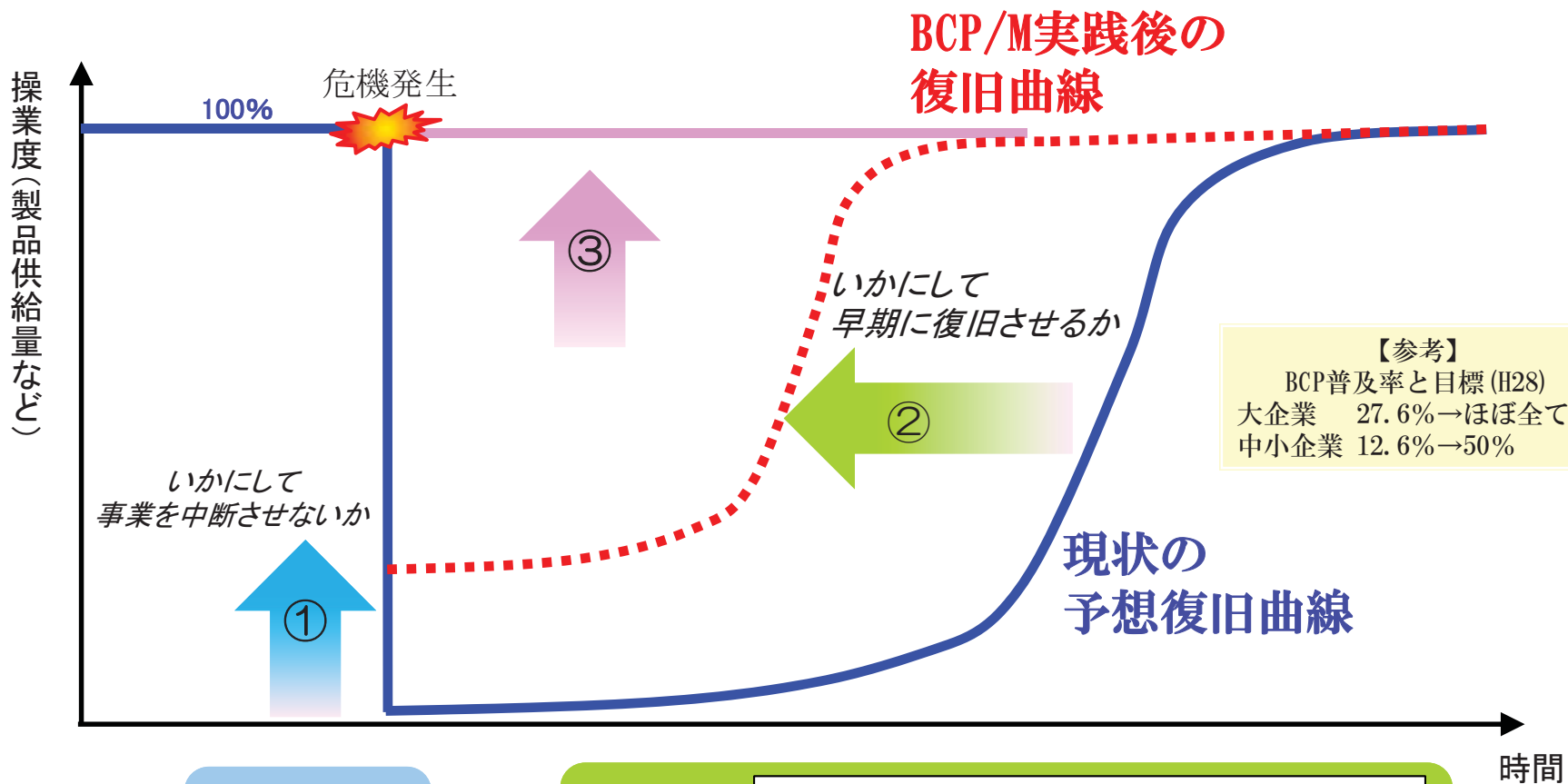
事業継続、BC（Business Continuity）とは



BCP/BCMは、事業継続への取組みにより、収益の安定性と企業価値を維持しながら高める経営マネジメント戦略

【目的】 危機発生後の操業度低下防止と復旧期間の短縮

リスクファイナンスの効果（保険の例）



①
防災対策

+

②
事業継続

ソフト面：事業継続の方針／目標／計画／推進体制
ハード面：事業継続の基盤

+

③
企業費用・利益
総合保険

割引制度の拡大
被災設備修復サービス

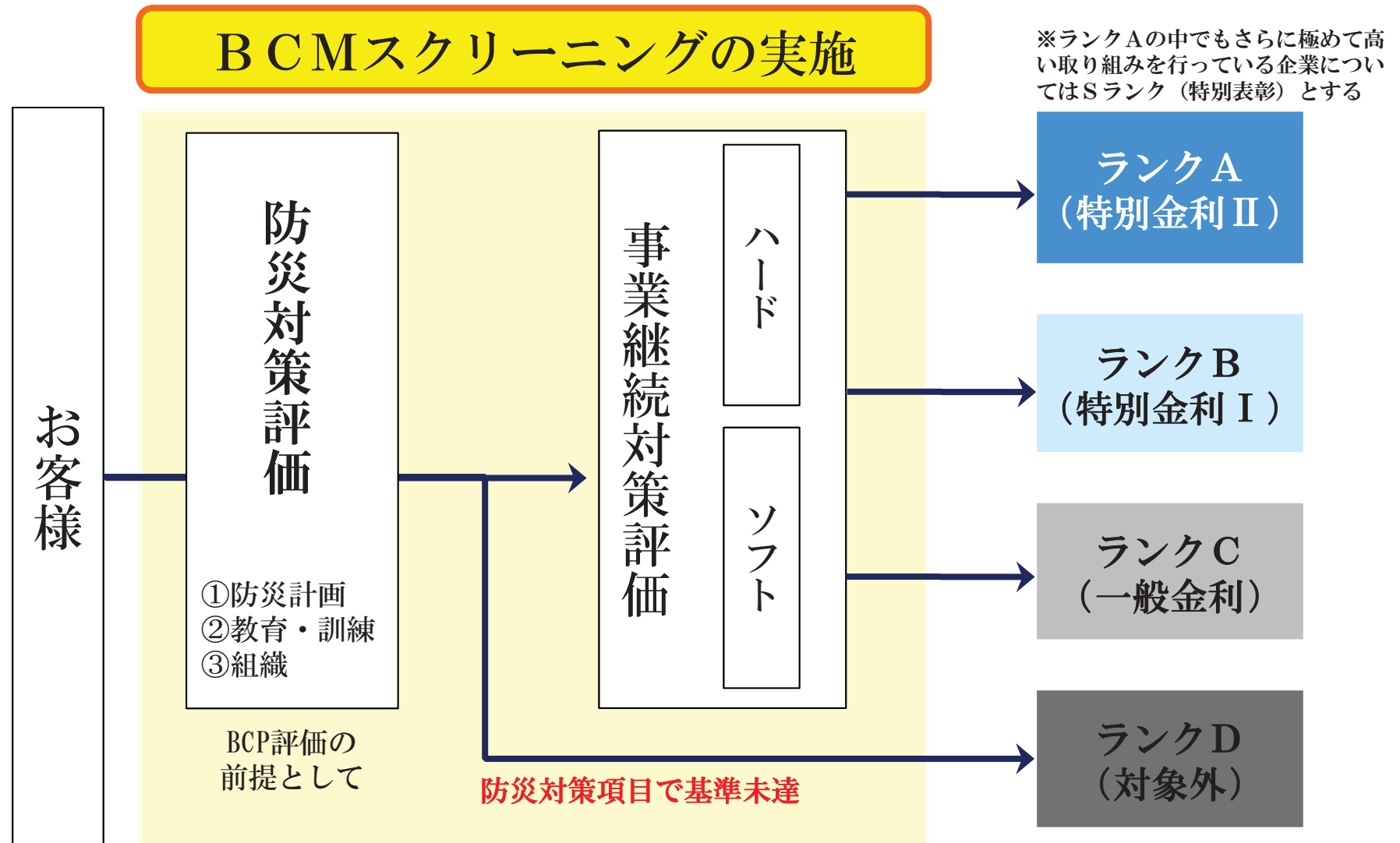
BCMスクリーニング概要

- 「防災対策関連」、「BCPハード関連」、「BCPソフト関連」の3分野から評価。
⇒合計約100項目、100点満点。
- 外部有識者のアドバイスを得ながら、毎年改良作業を実施。

分野		評価項目	得点 (100点満点)	
事業継続	ハード面	(1) 施設・設備の状況把握と災害対策	25点	→ 事業継続の基盤
		(2) 物的経営資源（拠点・設備・その他）の代替性確保		
		(3) 情報システムの安全・安定性と冗長性確保		
	ソフト面	(4) 事業継続リスクアセスメント、基本方針の策定、事業継続体制の構築	50点	→ 事業継続の方針／目標／計画／推進体制
		(5) 事業継続リスクアセスメントに基づく重要業務の洗い出し		
		(6) 事業継続の制約となる機能・資源（ボトルネック）の把握、時系列でのボトルネック把握と対処策		
		(7) 許容中断時間／目標復旧時間の設定と業務水準の算定		
		(8) 継続する戦略（早期復旧戦略、代替戦略）の検討		
		(9) 事業継続の教育、演習、見直し		
		(10) サプライチェーン／バリューチェーンのリスクマネジメント		
		(11) 地域コミュニティへの貢献		
		(12) 能動的なリスクコミュニケーション		
		(13) 災害時の財務的な安定性確保（リスクファイナンス、保険の活用）		
		(14) 総合評価		
防災対策	(1) 応急対応を中心とした防災計画の策定	25点	→ 法定要件を前提とした防災対策	
	(2) 生命安全確保策の整備			
	(3) 周辺地域への二次災害防止策の整備			
	(4) コンプライアンス			

商品設計

- BCMスクリーニングにより企業の防災対策、事業継続対策等を評点化し、これを融資条件に反映させる 世界で初めての融資メニュー (2006年度より)



格付ランクの区切り（合計100点）

	金利体系	得点率 (%)	ヒアリング	ロゴマーク
ランクS 特に優れている (特別表彰)	特別金利Ⅱ	90	要	付与
ランクA 特に優れている		70	要	付与
ランクB 優れている	特別金利Ⅰ	50	要	付与
ランクC 十分である	一般金利	(防災対策評価で) 60%以上	不要	付与
ランクD 不合格	不合格	(防災対策評価で) 60%未満	不要	—

ロゴマーク



S	A
B	C



ご融資対象事業

■原則、通常のご融資と同様です。

■但し、防災対策・事業継続対策事業を対象とされると、プレスリリースの際に有利です。

- ・非設備資金（防災資機材、システム関連費用、計画策定費用 等）も対象となります。
- ・生産設備の維持更新、労働安全衛生対策等も防災力への寄与に応じて取り上げ可能です。

対象事業例	
計画/ マネジメント	<ul style="list-style-type: none">・ 事業継続を含む防災計画の策定・ 防災計画の運用・改訂・ 防災対策に関連する研究開発
生命安全確保	<ul style="list-style-type: none">・ 緊急対応用資機材の整備・ 備蓄、防災無線等の整備・ 周辺地域への二次災害防止策
施設減災対応	<ul style="list-style-type: none">・ 耐震診断・改修、建替工事・ 風水害対策・ 設備・機器機能保全（転倒防止）
バックアップ 体制整備	<ul style="list-style-type: none">・ 事業所のバックアップ体制構築・ 情報システム、データの二重化・ 業務関連設備の二重化・ サプライチェーンにわたる防災対策

【結果通知書】

政環第24-号
平成24年 月 日

〇〇株式会社 殿

株式会社日本政策投資銀行
代表取締役社長 橋本 徹

「DBJ BCM 格付」結果通知書

貴社よりご依頼のありました「DBJ BCM 格付」に係るスクリーニング結果は下記の通りとなりましたのでご通知申し上げます

記

1. 結 果

総得点 (100)	防災対策評価 (25)	事業継続対策評価	
		ハード (25)	ソフト (50)

2. 総合評価

防災及び事業継続への取り組みが優れている

3. 備 考



【認定書】

認 定 証



〇〇株式会社 殿

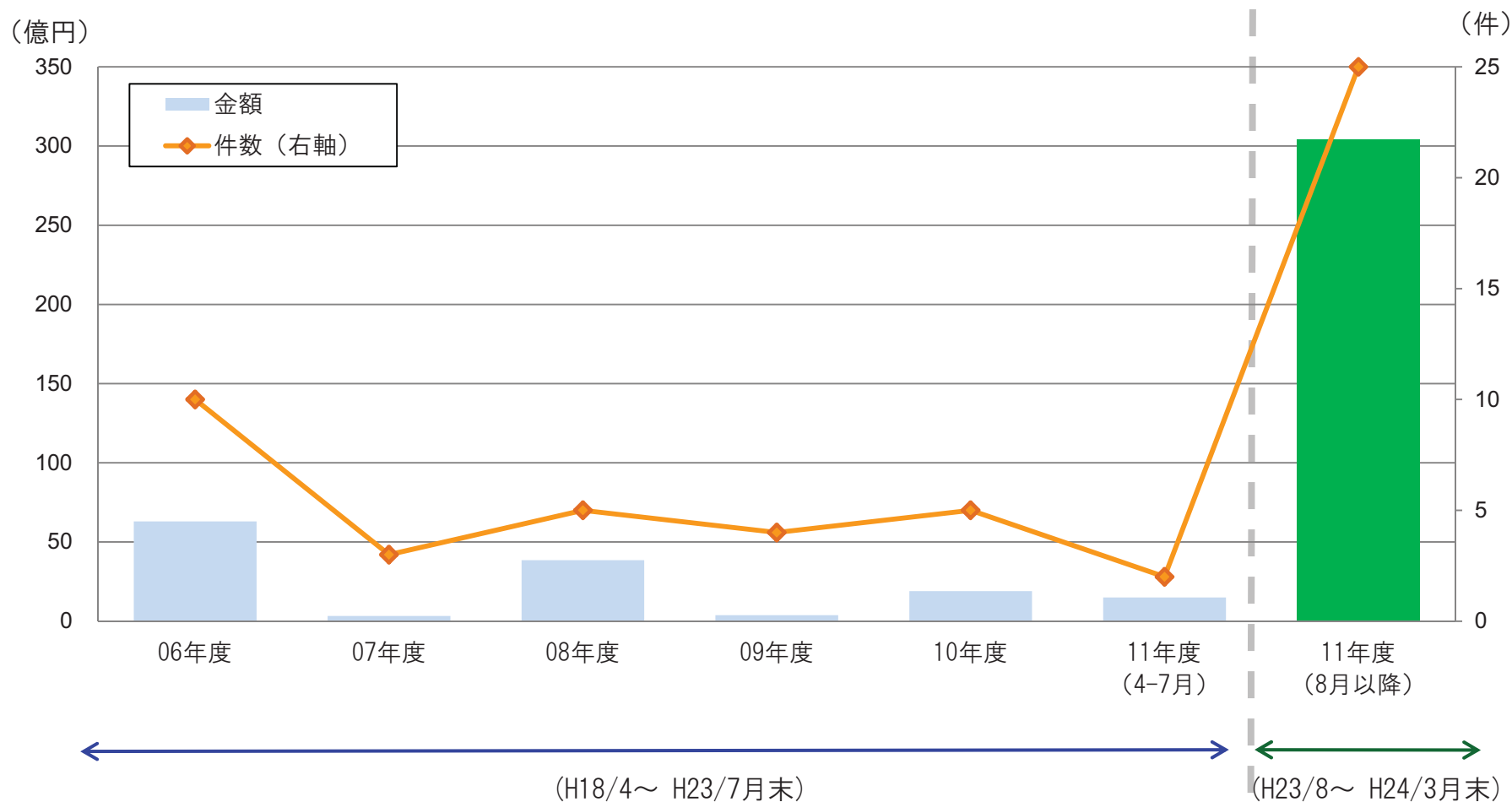
貴社は『DBJ BCM格付』調査の結果
防災及び事業継続への取り組みが優れている
と認められました

平成24年 月 日

株式会社日本政策投資銀行
代表取締役社長 橋本 徹

 DBJ 日本政策投資銀行

防災/BCM格付 2012/9末累計：69件、約620億円



	防災格付						BCM格付
	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度 (4-7月)	11年度 (8月以降)
件数	10	3	5	4	5	2	25
金額 (億円)	63	3	39	4	19	15	304

BCM格付融資 ご利用企業様 (2011年8月～)



アルプス電気 様



藤田観光 様



日陸 様



オークワ 様



ハローズ 様



日本海曳船 様



TOTO 様



大成建設 様



東洋合成工業 様



ケネディクス不動産投資法人 様



昭和産業 様



日本空港ビルデング 様



関東電化工業 様



神戸電鉄 様



鉄道情報システム 様



ダイフク 様



SGホールディングス 様



西部瓦斯 様



西川ゴム工業 様



鈴与 様



寺田倉庫 様



清和綜合建物 様



三ツ星ベルト様



河北医療財団 様



大平洋製鋼 様



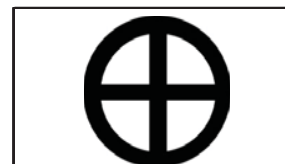
大建工業 様



昭和電工 様



日精ものづくりホールディングス 様



戸田工業 様



興和 様

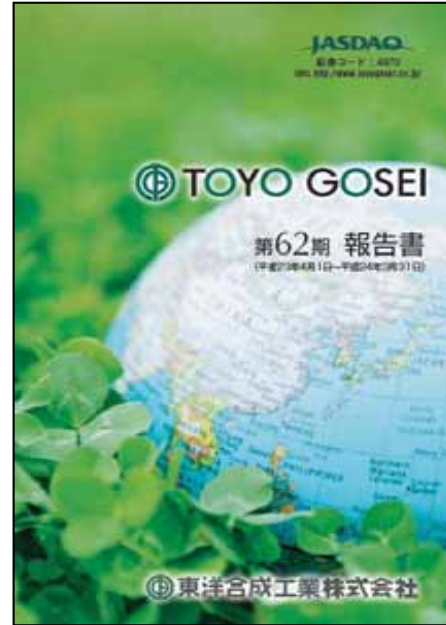
2011年度以降の
一部案件

BCM格付ロゴマーク等のご利用例

CSRレポート



株主通信



会社HP プレスリリース



有価証券報告書 株式関係提出書類



東日本大震災を教訓に、防災力、事業継続力をより強く

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、TOTOグループの全事業活動に影響を与えました。福島第一原子力発電所の20km圏内に所在するTOTOファインセラミックスの工場は現在操業を停止しており、当工場で生産していた商品は、TOTOウォシュレットテクノ茨城工場・TOTOファインセラミックス中津工場内で生産を継続しています。

東日本大震災を機に建物・設備の耐震対策についても、取り組みを加速させます。日本政策投資銀行(以下、DBJ)が企業の防災活動や事業継続対策を評価する「DBJ防災格付(現:DBJ BCM格付)」を利用し、低金利で資金調達できたことから、当初計画を大幅に見直し、2013年度末で耐震対策を完了させます。

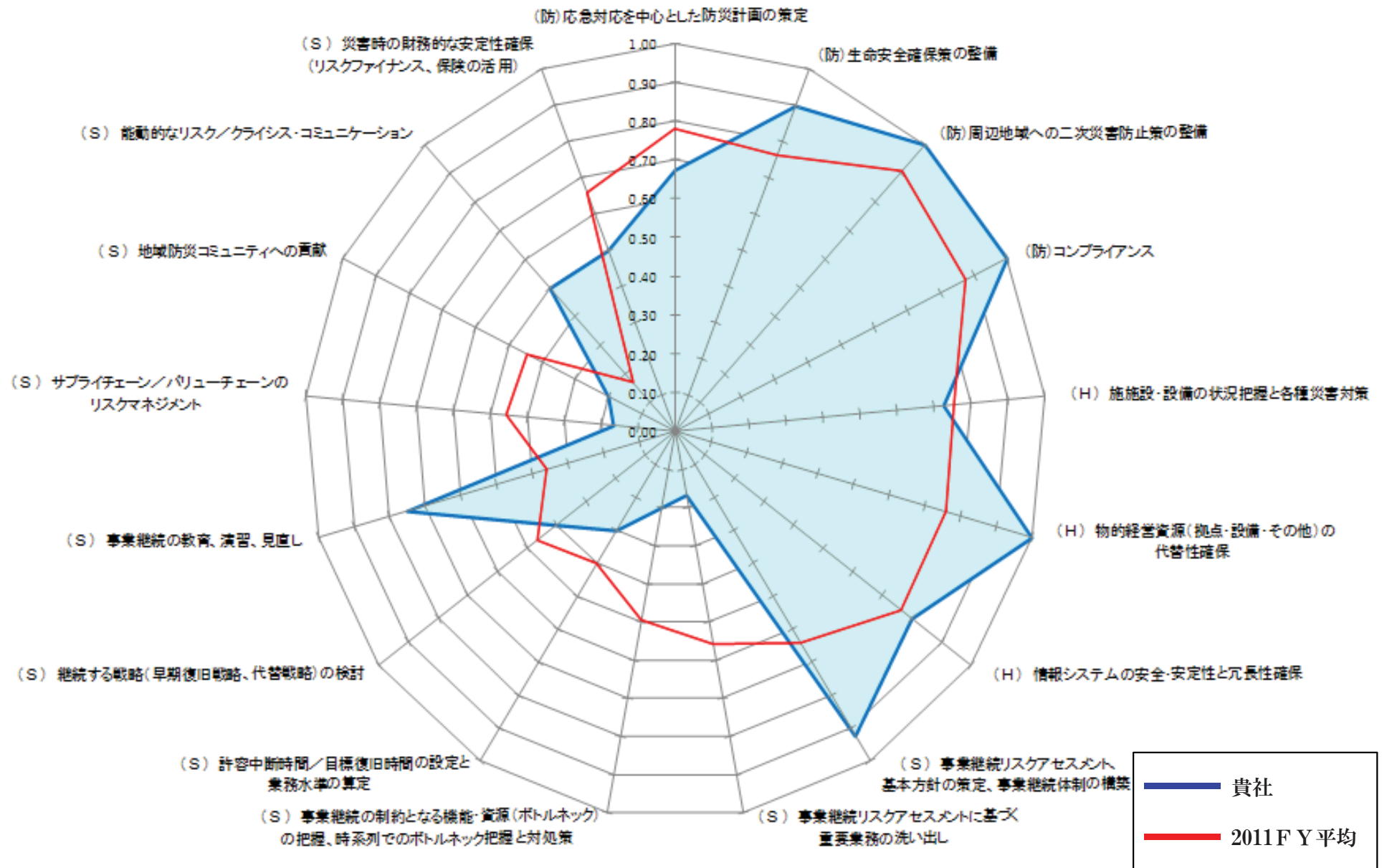
災害発生時も供給責任にお応えできるよう、商品のプラットフォーム化や生産の分散化、重要部品の調達リスク低減に向けた取り組みなどを強化し、災害に備えた事業継続計画の見直しを行っています。電力供給不足にも備え、全国ショールームの照明器具のLED化や、職場での節電対策、生産工場でのコージェネレーションシステムや自家発電機の活用など、節電要請にも継続的に応えられる体制を整えています。

また、刻々と変化する状況に応じて現場担当者が機敏に判断・実行することが最も必要であることを学び、2004年から60数回実施してきたリスクシミュレーションに加え、「リアルタイム型リスクシミュレーション」を導入し、高い危機対応能力を持つ人財を育成しています。

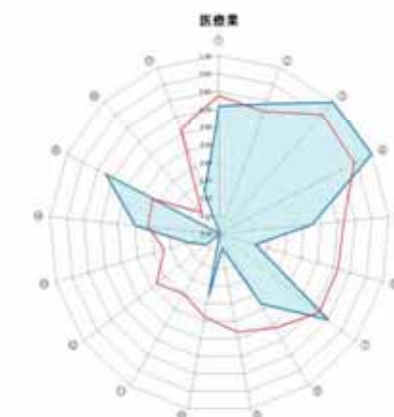
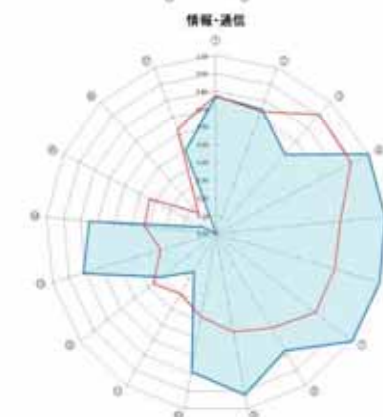
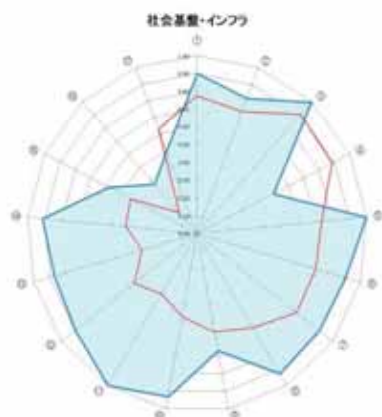
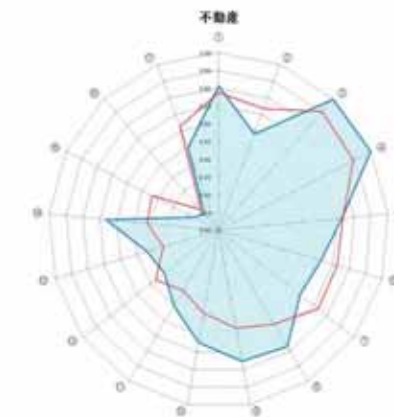
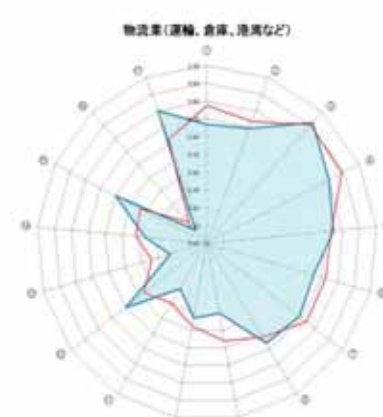
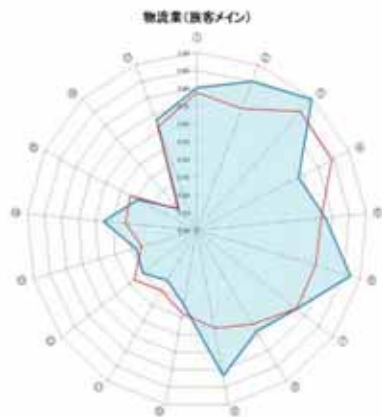
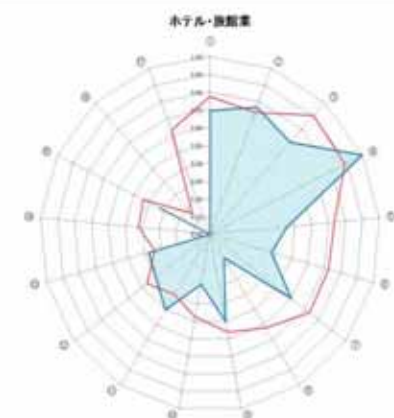
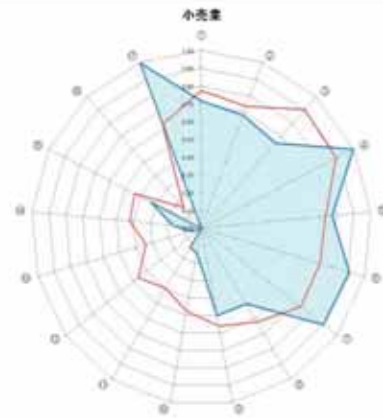
名刺など



フィードバック：組織レジリエンス・チャート（参考）



フィードバック：業種特性分析（参考）



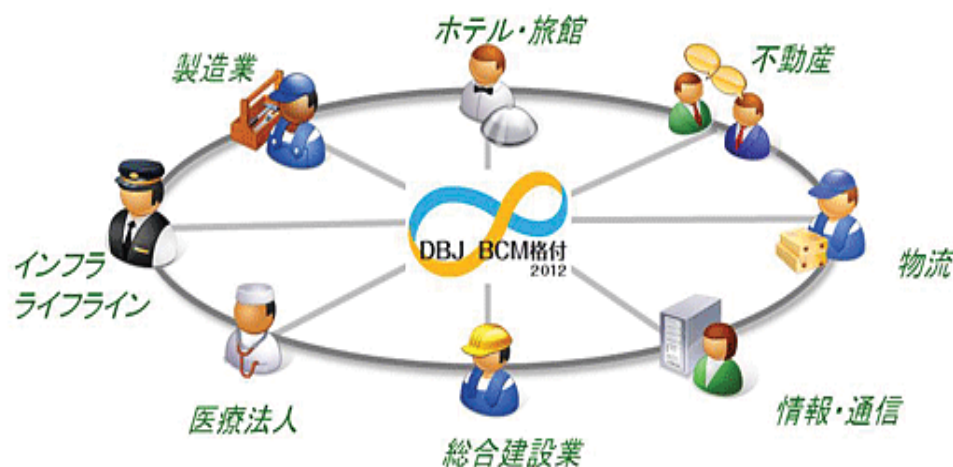
企業危機管理に携わる実務担当者の交流会

1.目的

- ◆複雑で相互に依存するリスクを、企業がよりの確に理解、管理、対応するための組織や地域の境界を越えた協議／共有を行う場の創出
- ◆経営戦略としての企業危機管理の推進・高度化に向けた具体的な方法論の追求

2.構成メンバー

- ◆「DBJ BCM格付」を取得したお客様（防災格付含）
- ◆DBJが有する危機管理分野に関する国内外の組織ネットワーク



【 第1回 BCM格付クラブ 】

東日本大震災の教訓と事業継続マネジメントシステムの国際規格（ISO22301）を踏まえた今後の日本企業の危機管理

日時：平成 24 年 7 月 27 日（金）13:30～17:10

会場：株式会社日本政策投資銀行 8階会議室

- | | |
|-------------|---|
| 13:30～13:40 | 開会挨拶、主旨説明
株式会社日本政策投資銀行 環境・CSR部長 竹ケ原 啓介 |
| 13:40～14:00 | DBJ BCM格付融資について
「社会のリスクコントロールに貢献する金融技術と哲学」
株式会社日本政策投資銀行 BCM格付主幹 蛭間 芳樹 |
| 14:00～15:00 | 基調講演
「事業継続マネジメントシステムの国際規格（ISO22301）を踏まえた今後の日本企業の危機管理」
名古屋工業大学大学院 教授、ISO/TC223・WG1 国際議長 渡辺 研司 様 |
| 15:00～15:10 | 休憩 |
| 15:10～17:10 | 事例講演
「サプライチェーンの事業継続リスクマネジメント～アルプス電気におけるBCPと東日本大震災～」
アルプス電気株式会社 管理本部CSR部長 中井 康弘 様
「BCPの実効性を高める実践的な演習とリスク/クライシス・コミュニケーション」
TOTO株式会社 総務部次長 リスクマネジメントグループリーダー 田中 江美 様
「総合建設会社としてのBCPへの取り組みと社会的責任について」
大成建設株式会社 管理本部 総務部総務室 課長代理 水谷 慎吾 様 |

BCM格付クラブ —日本初・企業危機管理のプラットフォーム—

渡辺先生

「ISOを踏まえた企業危機管理」「サプライチェーンの危機管理」

アルプス電気(株)様

TOTO(株)様
「実践的演習と危機管理広報」

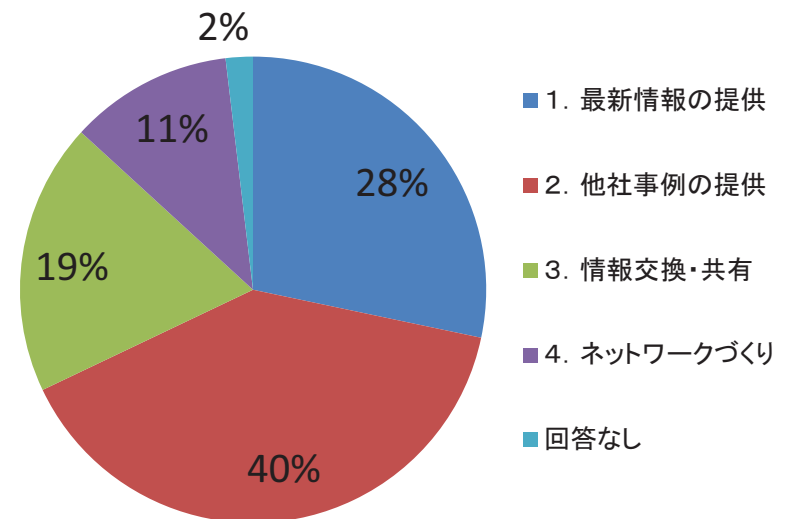
TOTO(株)様

大成建設(株)様

「危機管理と社会的責任」



BCM格付クラブに期待すること



BCM格付 アドバイザー

6名の社外委員
(50音順、2012年3月30日現在)

氏名	所属
玉田 三郎 氏	特定非営利活動法人 日本防災士機構 専務理事/事務総長
永井 智哉 氏	内閣府 政策統括官付参事官
林 智栄実 氏	Director, Head of Research, Global Risks 2012 Seventh Edition, Risk Response Network, World Economic Forum (世界経済フォーラム)
細坪 信二 氏	特定非営利活動法人 危機管理対策機構 事務局長
目黒 公郎 氏	東京大学大学院 教授 同生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター長 ISDR国連防災戦略 グローバルアドバイザー
渡辺 研司 氏	名古屋工業大学大学院 教授 リスクマネジメントセンター防災安全部門長 ISO/TC223(社会セキュリティ)WG1国際議長

危機管理体系に応じたDBJ+損保ジャパンのサービス

BCM格付を軸とした企業リスクマネジメント支援サービス

